

会報 習志野隊友

市内防災講習会を支援

隊友会習志野支部は、7月28日、市内本大久保ホームタウン自治会の行う防災講習会を支援した。

かねてより、本大久保ホームタウン自主防災会より同自治会の防災意識の高揚のために、何かこの種の講習会を企画したいと相談を受けていた習志野市危機管理監米山則行氏(隊友会会員・船橋市在住)が、隊友会習志野支



部に支援の打診を持ちかけ、支部会員有志の賛同を得て、この度実現に漕ぎつけたものである。

講師は、当支部会員岩谷巧氏(空挺団OB・現山武市防災管理監)が担い、野本三蔵会員及び米山則行氏(船橋支部会員)に補佐をお願いした。講習会は、「防災に活用できる自衛隊技術」のテーマを掲げ、7月28日(日)10時〜12時、本大久保ホームタウン・コミュニティハウスにおいて開催され、同ホームタウン自治会長以下、



78人の自治会員が参集し、盛況裡に行われた。
元空挺レンジャーの岩谷講師の迫真に満ちた講話に続き、岩谷氏を含む3人の隊友会員が教官となって、避難方法、救急法、搬送法、応急照明、パッキング、ロープ結束、匍匐行動などの展示・実習が行われた。

最近、ベストセラーとなった自衛隊防災BOOKの影響もあり、参加した住民の関心は高く、講習会の終始を通じて、活発な質疑応答が行われるとともに、熱心の実習に取り組む姿が見られた。参加した住民からは、「実践的で有意義な講習であった」「身近なものの活用例が多く、自衛隊が身近に感じられた」「災害時だけでなく、普段の生活



においても活用できる有難い知恵を授かった」などの声が多く聞かれ、我々としても支援の意義を改めて噛みしめたことだった。

隊友会習志野支部は、会員が現役時代に培った経験知識を活用して、地域社会の防災支援等のお役に立つべく、かねて手がけた防災CPXの支援をはじめ、こうした講習会を支援にも、今後、積極的に取り組んでまいる所存である。会員諸氏のご協力をお願いする。

軍馬・軍犬・軍鳩慰霊祭に参列

私は、毎年4月、靖国神社境内で行われる軍馬・軍犬・軍鳩慰霊祭に参列している。

靖国神社の境内、遊就館の真向かい、パール博士顕彰碑の前辺りに軍馬、軍犬、軍鳩の慰霊碑があるのをご存知の方は多いと思うが、その慰霊祭が毎年厳かに行われていることをご存知ない方も多いかと思ひ、その紹介がたがた、紙面を拝借することをお許し願いたい。この慰霊祭は、靖国神社に祀られる戦没将兵と共に戦場に赴き戦火に斃れた軍馬・軍犬・軍鳩の慰霊鎮魂のため、毎年4月第1週の日曜日の午後1時から行われている。

本年の慰霊祭は、好天に恵まれた4月7日、満開の桜の下、多数の参列者の参列のもと、行われた。「戦没馬慰霊像」、「軍犬慰霊像」、「鳩魂塔」の各慰



霊碑の前にそれぞれの好物が供えられ、午後1時開式。斎主の祝詞奏上に続き、唱歌「愛馬進軍歌」「軍用犬行進歌」「勇ましき軍鳩」が献楽され、参列者一同が合唱した。次いで山口靖國神社宮司を先頭に各関係団体の代表が玉串拝礼を行い、最後の放鳩式では白鳩数十羽が青空に放たれ、式典は終了した。その後、参列者一同、本殿に正式参拝し、物言わぬ動物達の偉勲を称え鎮魂の祈りを捧げた。

思えば、軍馬、軍犬、軍鳩、いずれも日本軍将兵と共に戦場で戦った戦友である。彼らと寝食を共にした兵士にとっては、殊更、思い入れの深い戦友同士である。軍馬は、明治から昭和にかけて幾多



の戦役で数百万頭が戦場に赴き、中でもその多くが大陸に赴いた。馬たちは、兵士を乗せて駆け回る乗馬、大砲を引く輓馬、或いは軍需品を運ぶ駄馬として、兵士たちと共に戦った。しかし、その馬たちは、戦場で命を落とすか、敵軍に接収され、殆どが日本に戻ることはなかった。終戦まで命を長らえた馬たちも連合軍に接収されるか、行方知れずとなり、復員兵と一緒に日本に戻れた馬は皆無だった。

軍犬についても、同じ運命をたどった。満州事変以降、大東亜戦争終結までの間、シェパードを主とする多くの軍犬が、伝令犬、偵察犬等として将兵とともに戦場を駆け回ったが、その大

半が敵弾に斃れ、或いは傷病死し、終戦時に生き残ったものも一頭すら故国に帰ることはなかった。

伝書鳩として戦場に活躍した軍鳩も同じ運命をたどった。

それらの動物たち、即ち物言わぬ戦友の霊を慰めるために、帰還将兵有志が相はかつて、昭和33年には「戦没馬慰霊像」、昭和57年には「鳩魂塔」、平成4年には「軍犬慰霊像」が靖國神社に奉納されたものである。

最初は、それぞれ別々に慰霊祭が行われていたが、集う戦友諸氏の高齢化の事情もあり、平成24年から軍馬・軍犬・軍鳩合同の慰霊祭として、この日に斎行されることになったのである。

物言わぬ動物たちの忠霊を慰めるためにも、本慰霊祭への参列のみならず、靖國神社をお訪ねの折りの、これら慰霊碑の参拝をお誘いするものである。

(会員 Y)

野本会員 防災セミナーで講演

6月22日、習志野市の主催する防災セミナーが市内日本大学キャンパスで開催され、当支部会員・野本三蔵氏(秋津町会連合会自主防災会会長)が講師の一人として講演した。

同氏は、平素の地域の防災訓練の質を高める一案として、自衛隊の机上訓練・CPX方式の例を引き、平成28



年11月に、当隊友会習志野支部が支援して実施した秋津町会連合会のCPX訓練について、その仕組み、実施要領、成果について説明した。そのお蔭で、隊友会の名前と活動が、広く認知される結果となり、我々としては大いに面目を施した一幕であった。

同氏は、長年、秋津町会連合会の自主防災会会長を勤め、自衛隊OBならではの企画統制力は余人の追隨を許さず、その力量は高く評価されている。

お知らせなど

▽ **新入会員の紹介** (敬称略)

・ 谷奥忠志 (陸) 泉町 3 丁目

・ 渡邊誠也 (陸) 東習志野 6 丁目

▽ **行事等の実施・参加**

○ **習志野駐屯地創立記念行事**

3 月 31 日、陸自習志野駐屯地における同駐屯地及び第一空挺団の創立記念行事に支部長以下が参加。

昨年は北朝鮮対処関連で、記念式典・観閲式が中止だったが、本年は記念式典・観閲式・祝賀会食の一連の行事が盛大に行われ、空挺団長以下の精強な顔々を頼もしく確認することが出来た。折りしも駐屯地の桜が満開。駐屯地開放に 5 万人の市民が詰めかけ、終日賑わった。

○ **千葉県護国神社春季例大祭**

(3) 4 月 10 日、千葉県護国神社において春季例大祭が執り行われ、県会長以下多くの隊友会員が参加して戦没者を慰霊した。また当日は、奉昇並びに境内の交通規制奉仕に多くの隊友会員が参加した。

なお、大祭に先立つ 4 月 9 日、護国神社境内の清掃奉仕に、県隊友会挙げて多くの会員が参加した。

○ **千葉県隊友会総会**

4 月 17 日、千葉市三井ガーデンホテルにおいて行われた千葉県隊友会年次総会に柚木支部長が代議員として参加した。

総会に引き続き、佐藤正久参議院議員による記念講演が行われ、外務副大臣として世界を股にかけて飛び回っている生々しい体験談に感銘を受け、我らの代表として国会に送りこんだ同氏の、期待に違わぬ活躍ぶりを改めて確認し、一同、大いに意を強くした。

○ **「ああ特攻勇士の像」慰霊祭**

5 月 26 日、県護国神社境内にある「ああ特攻勇士の像」の年次慰霊祭が催され、県隊友会副会長以下多くの隊友会員が参列し、特攻戦没者に慰霊の誠を捧げた。

本勇士像は、先の大戦で国のため、生還を期し得ない特攻として出撃し亡くなられた千葉県出身の英霊 138 柱の御霊を慰霊するため、隊友会員各位からも浄財を募り平成 23 年に竣工したもので、毎年 5 月 26 日に慰霊祭が行われている。

○ **佐藤正久氏時局講演会**

5 月 26 日夕、船橋市民勤労センターにおいて、佐藤正久参議院議員を講師に招いての時局講演会が開催され、支部長以下が参加して会場準備等に汗を流すとともに、聴講した。会場には、多くの近隣隊友会員、自衛隊協力会員などが応援に駆け付け、盛会だった。外務副大臣として、年間 50 カ国以上を飛び回って激務をこなす佐藤正久議員の、その激務の間を縫うての船橋入りであったが、その生々しい体験談に参加者一同、魅せられたひと時だった。

○ **隊友会習志野支部総会・懇親会**

6 月 22 日、市内・海鮮バブ「たか丸」において、隊友会習志野支部令和元年度総会・懇親会を開催し、支部長以下 12 名(正会員 7 名、特別会員 2 名、準会員等 3 名)が参加した。野本会員から、同日、市内日大キャンパスで行われた防災セミナーに講師として参加した成果、岩谷会員から市内本大久保自治会から講師依頼をされている防災講習会(7 月 28 日)の実施構想、市危機管理監米山氏から市防災訓練の実施予定等について説明があり、懇親会は防災研究会と化した観があった。隊友会の地域貢献のあるべき姿を巡って、議論は尽きなかった。

○ **市内自治会の防災講習会を支援**

前掲のとおり、支部は、7 月 28 日、市内本大久保ホームタウン自治会の主催する防災講習会を支援した。空挺団 O B の岩谷巧会員が講師を勤め、「防災に活用できる自衛隊技術」をテーマとし、実習を含めた講習会は、多くの参加住民の好評を博した。講習会参加者 78 名。

○ **習志野部隊防衛講話**

7 月 9 日、習志野駐屯地で行われた予備自衛官招集訓練において柚木支部長が防衛講話を担当し、48 名の予備自衛官を前に、やや毛色の変った話題で、近現代の国際場裡における日本の果たした役割とその成果について説明し、翻って現代の国際社会における日本及び日本人のあるべき姿を考える問題提起とした。

○ **習志野駐屯地夏まつり**

8 月 3 日、陸自習志野駐屯地において、恒例の夏まつりが開催され、支部長以下が参加した。好天に恵まれ、6 万人を超える市民が駐屯地に押しかけ、納涼のひと時を楽しんだ。本夏まつりの名物・花火打ち上げに、支部は例年どおり、協賛金を贈呈した。

▽ 行事等の今後の予定

○ 国際防衛ラグビー競技会

ラグビーワールドカップ2019日本大会に合わせて、各国の軍人チームが対戦する国際防衛ラグビー競技会が9月開催される。日本チームには、習志野駐屯地及び下総基地ラグビー部の隊員が選手として多数参加。会場として習志野駐屯地、朝霞駐屯地、柏市柏の葉競技場等が予定されている。

○ 千葉県護国神社秋季例大祭

10月10日、千葉県護国神社にて開催予定。

なお、千葉県隊友会は毎年、戦没者慰霊活動の一環として奉仕活動を行っており、本年も、10月5日の境内清掃、例大祭当日の車両統制等の奉仕活動に、会員有志が参加予定。

○ 県隊友会ゴルフコンペ

5月21日予定が悪天候で延期となった県隊友会ゴルフコンペは、10月11日、真名GC（茂原市真名）で開催予定。幹事は四街道支部斎藤氏。

○ 自衛隊殉職隊員千葉真追悼式

10月下旬、陸自下志津駐屯地「鎮めの庭」にて本年度追悼式開催予定。千葉県隊友会は、当日の追悼式に参加するとともに、戦没者・殉職者慰霊活動の一環として事前の「鎮めの庭」周辺整備を担当し、10月中旬、会員有志が参加して、剪定・除草・清掃等の作業を実施予定。

○ 習志野自衛隊初降下訓練

1月上旬、習志野演習場で開催予定。

○ 建国記念日祝賀行事

2月11日、千葉市民会館において「建国記念の日を祝う千葉県民の集い」が開催される予定。

○ 千葉県自衛隊入隊者激励会

千葉県自衛隊家族会（旧名自衛隊父兄会）連合会の主催で、3月上旬、千葉市内で開催を予定。

隊友政治連盟からお知らせ

去る7月21日、第25回参議院議員通常選挙が行われ、自衛隊OB・隊友会会員の佐藤正久氏が、過去12年間に及ぶ防衛代表としての参議院議員活動実績、更には国会における自民党

国防部長としての活動実績、加えて近年は安倍内閣における外務副大臣としての赫赫たる活躍の実績等を踏まえ、三選を目指して全国比例代表区に立候補し、見事に当選を果たしました。

多くの自衛隊員及び自衛隊OB並びに我が国の防衛・安全保障政策の推進に思いを寄せる人々の期待を担うての当選です。しかも自民党比例代表候補の中で第4位の得票を勝ち取ったのは、ここ最近、防衛・安全保障問題に対する国民の関心の深さ、自衛隊に対する信頼の強さが高まっている証左でもあります。同志・佐藤氏の栄えある三選を皆さんとともに喜び、同氏の今後の益々の活躍を期待するものです。

この夏、佐藤候補の選挙支援のために、ポスター貼り、ビラ配り、街宣運動などに汗を流していただいた皆さん、本当にご苦労様でした。加えてハガキ作戦・電話作戦などに地道なご協力をいただいた皆さん、更には佐藤正久後援会に寄付をお寄せいただいた皆さんに心から感謝申し上げます。

なお、得票結果を過去の佐藤正久選挙、宇都隆史選挙と対比して付表に提示しましたが、習志野市の今回の佐藤票は455票とやや不本意な成績でした。前回（平成25年）の佐藤正久選挙の見事な成績（629票）に胡坐をかいてしまい、支部長以下の努力が足りなかった結果かとも思い、反省しています。ご支援・ご協力いただいた皆さんに心からお詫び申し上げます、今後の

活動に向け、引き続きのご指導・ご協力をお願い申し上げます。

| | R1選挙 佐藤正久得票 | H28選挙 宇都隆史得票 | H25選挙 佐藤正久得票 | H22選挙 宇都隆史得票 | H19選挙 佐藤正久得票 |
|------|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 習志野市 | 455 | 170 | 629 | 190 | 417 |
| 千葉県 | 13,208 | 6,564 | 15,638 | 5,786 | 12,628 |
| 全国 | 237,432 | 137,993 | 326,542 | 121,442 | 251,579 |